

研究テーマ	表現力，判断力，思考力を相互に働かせながら，児童が生活を明るく豊かにする図画工作の働きを実感することができる創造活動の工夫 —第4学年「くにゃっとハウス」の実践を通して—
-------	--

桜川市立真壁小学校 教諭 坂入 洋子

## I 研究テーマについて

「すごいこと思い付いたよ。」と，満面の笑みを浮かべて手を動かしている子供の姿は，何事も恐れぬ力強さを感じる。養分をたっぷり吸い込んだ種が芽吹き，地面を破って成長するかのような，命の輝きを見ているかと思うほどだ。まさに，心が大きく揺さぶられ，何か動き出そうとしているのである。描いたりつくったりすることは，生きてきた自分を確認し，さらに構築し直す作業である。見たり，感じたり，経験してきたことがあるからこそ，人はそれらを基に表現することができるのであろう。そして，表現した作品でまた新たな自分を発見したり，他者と共感し，理解し合う喜びが生まれるのである。

しかし，実際に子供たちがおかれている社会や学校では，「はやさ」や「能力」などが優先されがちで，表現することや感じることそのものの中に，子供たちの成長を支える大切な時間があることは，忘れ去られているように感じることもある。楽しいことや，新しいことが常に子供たちの身の回りに存在するため，手を動かして描いたりつくったりする活動は，図画工作の授業の中でしか経験しない子供もいるのではないだろうか。

つまり見方を変えると，すべての子供たちに，つくる喜びや感じる喜びを体験する機会を与えられるのは，学校での図画工作の授業ということになる。生涯学習の観点においても教科としての価値は大変高く，一生を通じて感性を磨いていくことのできるものである。平成28年中央教育審議会答申における，現行学習指導要領の成果と課題において，「感性や想像力等を豊かに働かせて，思考・判断し，表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや，生活を美しく豊かにする造形や美術の働き，美術文化についての実感的な理解を深め，生活や社会と豊かに関わる態度を育成すること等については，更なる充実が求められるところである。」という文言がある。また，具体的な改善事項にも，「授業で学習したことがこれからの自分たちの生活の中で生きてくるという実感を持つよう，指導の改善・充実を図ることが求められる。」と明示されている。

そこで，表現力，判断力，思考力を活用して，児童が思いを表現する喜びを味わうとともに，生活を豊かにする図画工作の働きを実感できるような指導の工夫を探してみたいと考えた。

## II 研究の実際

### 1 題材名 くにゃっとハウス

### 2 題材の目標

水でやわらかくした黄ボール紙を折ったり曲げたりして，思いに合った立体的な形を工夫して表す。

### 3 題材について

#### (1) 児童の実態

本学級の児童（32名）は，図画工作の授業をとっても楽しみにしている。「自分いろいろがみ」では，簡単なモダンテクニックを学び，偶然表れる色や線の重なりに，感情や独自の世界観を見付け出すことを楽しんだ。「トントンつないで」では，くぎ打ちをしながら木材をつなげて作品づくりを楽しんだ。

しかし，つくりたい気持ちだけが先走ってしまい，しっかりとイメージをふくらませずに製作を始めてしまったり，最初にもったイメージに固執し過ぎるために，途中で追求することをやめてしまい，十分に力を発揮できない児童もいた。この学習を進めるに当たっての児童の実態は，次のとおりである。

1	図工で、自分の思いを作品に表すことは好きですか。	好き	32人	好きではない	0人		
2	図工の作品作りで、イメージが次々とわいてこなくて困ったことはありますか。	ある	17人	ない	15人		
3	自分の思い通りにつくることよりも、完成することだけを目指して作品をつくったことはありますか。	だいたいいつもそう	4人	たまにある	6人	ない	22人

これらの結果から、自分の思いを表現することは「好き」と答えてはいるが、イメージを広げたり、学習意欲をもち続けることは、簡単ではないことが分かる。

(2) 題材観

上記のアンケート結果から、本題材では、材料に触れたり試したりする時間を確保することで、五感を働かせた豊かな発想につなげたい。また、イメージを広げる際に言葉を使ったり、グループの中で意見を交換し合ったりと、表現や鑑賞の過程で、言語活動を積極的に取り入れるようにする。言葉を手掛かりにしたり、お互いに関わり合うことで、共感や新しい発見を見い出し、学習意欲を持続させていきたい。

(3) 指導観

教師は、机間指導を行い、一問一答ではない児童との対話を大切にしていきたい。「今、作品の中で、何が起きているのか。」「これからどんなことが起ころうとしているのか。」を問いかけ、それぞれの思いに合った表現の工夫を、共に考えるようにしていきたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
黄ボール紙を水にぬらして変形させることに興味をもち、好きな形をつくることを楽しもうとしている。	紙を折ったり曲げたりしてイメージを広げ、立体に表すように形を考えることができる。	材料の特徴を生かしながら、立体的な形をつくり、飾りや色を工夫して表すことができる。	自分や友人の表現の仕方や形のおもしろさなどを感じ取ることができる。

5 指導と評価の計画（6時間扱い）

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ①	・学習の見通しをもつと共に、黄ボール紙をぬらしてから、折ったりさいたり、丸めたりを体験する。	・黄ボール紙を水にぬらして変形させることに興味をもち、好きな形をつくることを楽しもうとしている。 ●【対話・行動観察・表現】
第2次 ④	・たらいにはった水で黄ボール紙をぬらし、くしゃくしゃ紙で家の形をつくって乾かす。（1週間） ・言葉をもとに考えたり、物語を想像したりして飾り付けをしたり、色や模様を付けたったりして、思いに	・紙を折ったり曲げたりさいたりしてイメージを広げ、立体に表すように形を考えることができる。 ●【対話・行動観察・表現】 ・材料の特徴を生かしながら、立体的な形をつくり、飾りや色を工夫して表すことができる。

	合った「くにゃっとハウス」をつくる。	【対話・行動観察・表現】
第3次 ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品のイメージと、場所の様子や特徴を生かした展示を行い、写真撮影をする。</li> <li>感じたことや考えたことをまとめ、作品のおもしろさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の表したいことを見付けて、場所の様子を生かした並べ方や組合せなどを考えることができる。</li> <li>友人と話し合ったりしながら、作品のよさやおもしろさをとらえることができる。</li> </ul>

## 6 指導の実際

### (1) 準備・資料

教師…作品例、振り返りカード、黄ボール紙、たらい、カラーペン、タブレット型端末、大型テレビモニター

児童…洗濯ばさみ大小各3個程度、ペットボトル容器(500ml)、新聞紙1日分、雑巾、木工用ボンド、松ぼっくりや小枝などの自然物、水彩絵の具

時間配分と学習計画	教師の指導内容 (○指導 ■評価)	投げかけの言葉や行動の具体例	子供の活動 《行動と思い》
出 会 い ・ 発 想 (二時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○黄ボール紙でつくった作品を見せたり、実際にぬれた黄ボール紙を触ることで興味を持てるようにする。</li> <li>○気付いたことや感じたことを伝え合わせる。</li> <li>■黄ボール紙を水にぬらして変形させることに興味をもち、好きな形をつくることを楽しむとしている。(関)</li> <li>○次時の活動を伝える。</li> <li>○発想を広げていく手がかりになるように、つくりの違いを説明する。</li> </ul>	<p>くにゃっと紙をさわって、感じてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ぬらした黄ボール紙を四等分にして配付し、試しながら感じたことを交流させる。</li> <li>・筒状に丸める</li> <li>・手でさく・薄く剥ぐ</li> <li>・三つ編みにする</li> <li>・ぐしゃっとつぶすなど</li> </ul> <p>「このくにゃっと紙を使って、誰かさんのお家をつくります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家の形を提案する。</li> <li>・家全体のつくり</li> <li>・ドールハウスのように内部が見えるつくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ぬらした黄ボール紙で作品をつくることを知る。</li> <li>「ただの紙だよ。」</li> <li>「ぬらしていいの。」</li> <li>○ぬらした黄ボール紙を触って試してみる。</li> <li>「やわらかいね。」</li> </ul>  <p>「こうすると、立つよ。」</p> <p>「簡単にむけるよ。」</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たらいにはった水で黄ボール紙をぬらした後、形をつかって洗濯ばさみで留め、1週間乾かすことを説明する。</li> </ul>	<p>住む人や生き物を想像しながら、お家の形をつくらう。</p> <p>「広げた新聞紙の上で作品をつくしましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○たらいは3つ用意し、班ごとに水に浸させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○黄ボール紙を自分でぬらして準備する。</li> </ul> 

時間配分と学習計画	教師の指導内容 (○指導 ■評価)	投げかけの言葉や行動の具体例	子供の活動 《行動と思い》
構想・表現 (四時間)	<p>○住人にとって住みやすい家がそれぞれあることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体の形や、窓や入り口の場所、煙突や階段などの必要性が違ってくるところを紹介する。</li> </ul> <p>■紙を折ったり曲げたりさいたりしてイメージを広げ、立体に表すように形を考えることができる。(想)</p> 	<p>「誰が住んでいるかによって、お家ってそれぞれ形が違うはずだね。」</p>  <p>○ペットボトルや新聞紙などで支え、自立できる作品になるよう、形を整えさせる。</p> <p>「お家が倒れないように、何かを付け足したり引いたりしてバランスをとりましょう。」</p> <p>「このままで乾かすので形を整えましょう。」</p>	<p>○思い思いに、形を整える。</p> <p>「りすが住んでいそう。」</p> <p>「すごーい。立ったよ。」</p> <p>「ぐしゃってしたら、面白い形になったよ。」</p> <p>「タワーみたいにしてみよう。」</p> <p>「だんだん乾いてきた。」</p> <p>「この窓から、おーいってさけぶんだよ。」</p> <p>「すべり台を付けてみたよ。」</p>  <p>「洗濯ばさみだらけ。」</p>
	<p>○他の材料を使ってつくり足したり、水彩絵の具などで色や模様を付けたりしながら、思い合った家をつくるよう話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 黄ボール紙の風合いを残すためにも、全体ではなく、ところどころに色や模様を施すことを勧める。</li> </ul>  <p>■材料の特徴を生かしながら、立体的な形をつくり、飾りや色を工夫して表すことができる。(創)</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">       住む人や生き物を想像しながら、お家に色やかざりを付けよう。     </div>  <p>○部品などをつくる場合もう一度水にぬらしてつくってもよいこととする。</p> <p>「左右上下いろんな方向から作品を見てみよう。」</p> <p>「つくったものは、ボンドを使って接着してみよう。」</p>	<p>○自分の思いを大切にしながら、色や飾りを付ける。</p> <p>「松ぼっくりもカラフルにしよう。」</p> <p>「横からのぞいてみると面白いよ。」</p>  <p>「倒してみるのもいいな。」</p> <p>「落ち葉をたくさん付けたら、お家がかくれんぼしているみたい。」</p> <p>「○○君は、お家の中にネコ3匹いるよ。」</p>

時間配分と学習計画	教師の指導内容 (○指導 ■評価)	投げかけの言葉や行動の具体例	子供の活動 《行動と思い》
鑑賞 (二時間)	<p>○自分の作品にまつわる物語を想像しながら、展示場所やアングルを工夫して写真を撮ることを話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所は：校庭，中庭，木の上，砂場，遊具の上など</li> <li>・撮り方：上下左右前後</li> </ul> <p>○同じグループの友達とお互い助言し合うことを勧める。</p> <p>■自分の表したいことを見つけて，場所の様子を生かした並べ方や組合せなどを考えることができる。(鑑)</p>	<p>物語を考えながら，ぴったりの場所をさがして写真にとってみよう。</p> <p>「世界に1つしかない，このお家の物語を想像してみよう。」 「いつのお話にするのかな。朝，昼，夕方，それとも夜かな。」</p> <p>○それぞれがおおよその展示場所を伝え合い，設置できたら集まって撮影させる。 「砂で山をつくるのね。」</p> 	<p>○グループ（4人）ごとにタブレット型端末で撮影する。</p>  <p>「森の中なら，落ち葉を集めるといいね。」 「もう少し近づいてみたらどうかな。」 「校舎も一緒に写してみよう。」 「ボールを教室から持ってきて並べよう。」</p> <p>○展示について，ワークシートに記入する。(資料2)</p>
	<p>○撮った画像をテレビモニターに映し，作者の思いや見た感想などを伝え合うことを話す。</p> <p>作者：この場所で撮った理由や，物語の簡単な説明など</p> <p>作者以外：感想，共感や相違の意見</p> <p>■友人と話し合い，作品のよさやおもしろさを捉えることができる。(鑑)</p> 	<p>思いや感想を伝え合おう。</p> <p>「いい場所を見つけたね。どうして木の上で撮りたかったのかな。」</p>  <p>「お家が2つ並んでいるのはどうしてかな。」</p> <p>「みんなが作品のよさや面白さにあった場所を根拠をもって選んでくれたから，こんなに素敵な写真が撮れたのですね。」</p>	<p>○作者の発表の後，2～3名が発表し，意見を交流し合う。</p> <p>「木登りが好きなリスが住んでいるから，ここで撮りました。外に出るときは，すべり台を使います。」</p>  <p>「お隣同士の家を二人で撮りました。」 「校庭にずっと置いておきたいです。」 「みんなにいいねって言ってもらえてうれしかったです。」 「またやってみたい。」</p>

